

週間感染症情報

35週 36週

2026年35週～36週 2026年8月24日より2026年9月6日まで

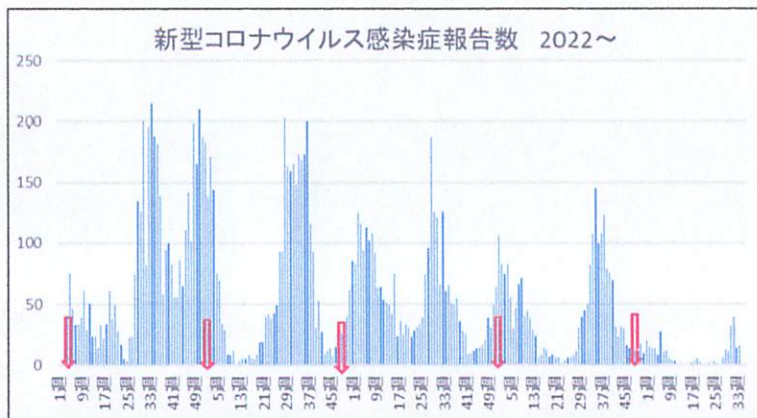
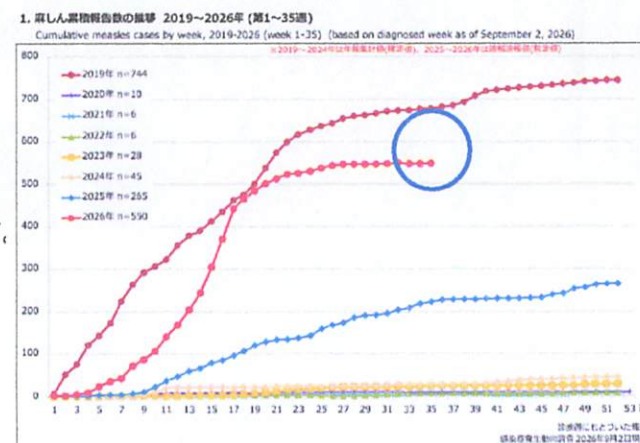
麻疹		
風疹		
水痘(みずぼうそう)	1	
ムンプス(おたふくかぜ)		
百日咳		
溶連菌感染症	3	3
手足口病	3	
ヘルパンギーナ		
伝染性紅斑	1	
感染性胃腸炎	24	28
ロタウイルス(再掲)		
ノロウイルス(再掲)		
便アデノウイルス(再掲)		
突発性発疹	2	3
伝染性膿痂疹(とびひ)	3	3
ヘルペス性口内炎		
アデノウイルス感染症		2
RSウイルス感染症		
マイコプラズマ感染症	4	5
ヒトメタニューモウイルス		
インフルエンザ	3	4
インフルエンザ A	3	4
インフルエンザ B	0	0
新型コロナウイルス感染症	10	5

2週間分の報告です。新型コロナウイルス感染症の報告は減少しました。しかし、岡山県内ではコロナによる学級閉鎖が報告されています。また、インフルエンザAの報告が増えています。全国では例年より早く流行が立ち上がっており、(A/H1)の報告が多いです。クラスに一人インフルエンザの患者が出ると、数日後には周囲の5-6人がかり患し、1週間するとクラスの半数がかり患し、2週間でクラス内の流行は終息します。高熱で発症します。体調不良の場合は、感染を広げないように無理せず休みましょう。

右のグラフは麻疹の報告数の推移です。麻疹は感染力が強く、特別な治療法はありません。高熱が1週間続き、肺炎など合併症を起こし、現在でも1000人に一人は亡くなります。2026年は、36週までに550例が報告されており、多くは、ワクチン未接種や不明の症例です。2024年、世界で47万例の報告があり、9万5000人が亡くなっています。麻疹はワクチンで予防できる病気です。接種歴を確認しましょう。

1歳児と年長さんは、すぐにMRワクチンを接種しましょう。
カンピロバクターなど細菌性胃腸炎の報告がみられます。
マイコプラズマ肺炎の報告はだらだらと続いています。

熱がなくても咳をしている場合は、マスクの着用をお願いします。手洗い・換気に努めて下さい。



(感染情報については当院のホームページでもご覧になれます。 <http://miyakenaika.com>)

